



株式会社UKCホールディングス
2014年(平成26年)3月期 第1四半期決算説明資料

2013年8月9日



株式会社 UKCホールディングス





目次

2014年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2014年3月期 第1四半期 ハイライト	5
2014年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業	6
2014年3月期 第1四半期 電子機器事業	7
2014年3月期 第1四半期 システム機器事業	8
2014年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)	9

2014年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想

2014年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想	11
--------------------------	----





2014年3月期 第1四半期決算(連結)概況



事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料

2014年3月期 第1四半期 ハイライト

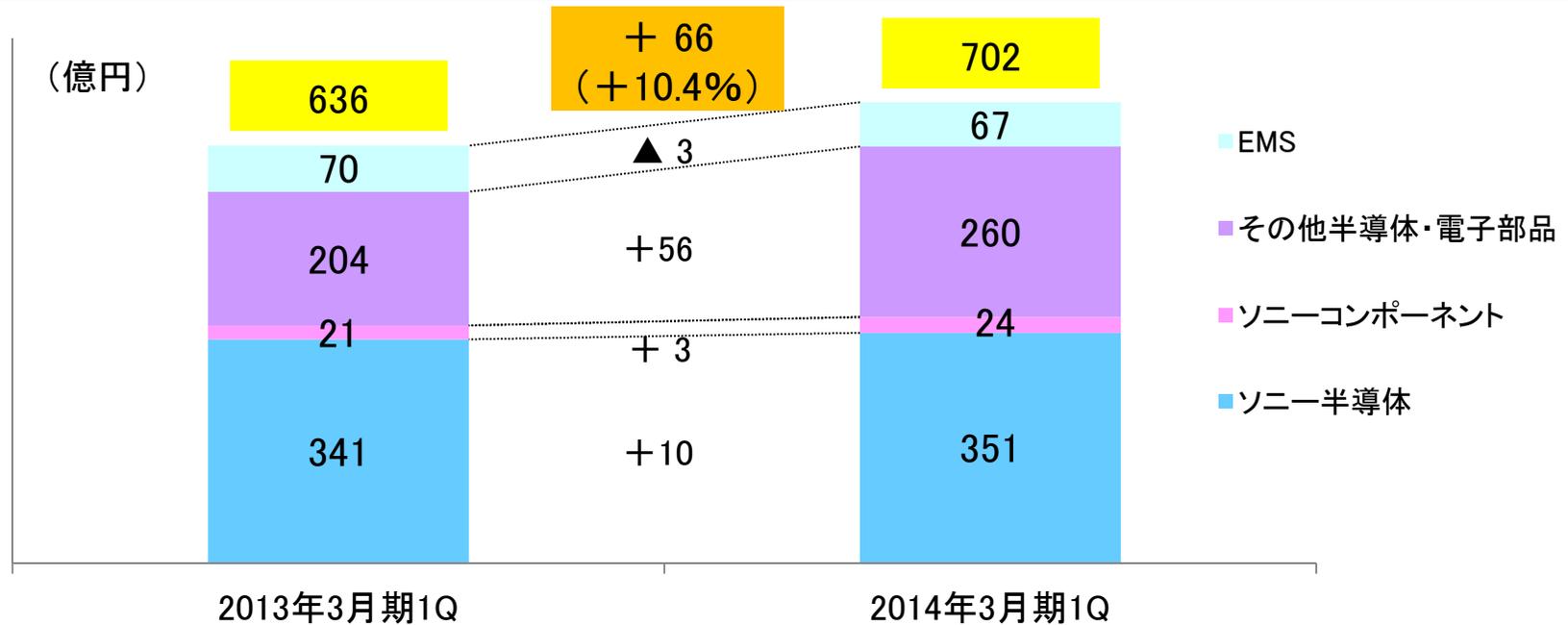


(単位:百万円)	2013年3月期 第1Q		2014年3月期 第1Q		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	66,322	100.0%	73,529	100.0%	+7,206	+10.9%
売上総利益	4,537	6.8%	4,500	6.1%	▲36	▲0.8%
SGA	2,698	4.1%	2,685	3.7%	▲12	▲0.5%
営業利益	1,839	2.8%	1,815	2.5%	▲24	▲1.3%
経常利益	1,416	2.1%	1,817	2.5%	+401	+28.3%
四半期純利益	876	1.3%	1,254	1.7%	+377	+43.1%

- 売上高: 前年同期比+72億円(+10.9%)
海外のスマートフォン向けイメージセンサー、タッチパネル等の販売増や電子機器事業の増収が貢献
その一方で、デジタルスチルカメラ向けは市場の停滞により減収
- 売上総利益: 前年同期比▲36百万円(売上総利益率▲0.7%)
相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、前年同期比微減
- 営業利益: 前年同期比▲24百万円(営業利益率▲0.3%)
- 経常利益、四半期純利益: 営業利益は減少したものの、前年同期と比較して為替差損益が大きく改善
(435百万円差損→46百万円差益)したことにより共に増加



2014年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業



セグメント利益(百万円)

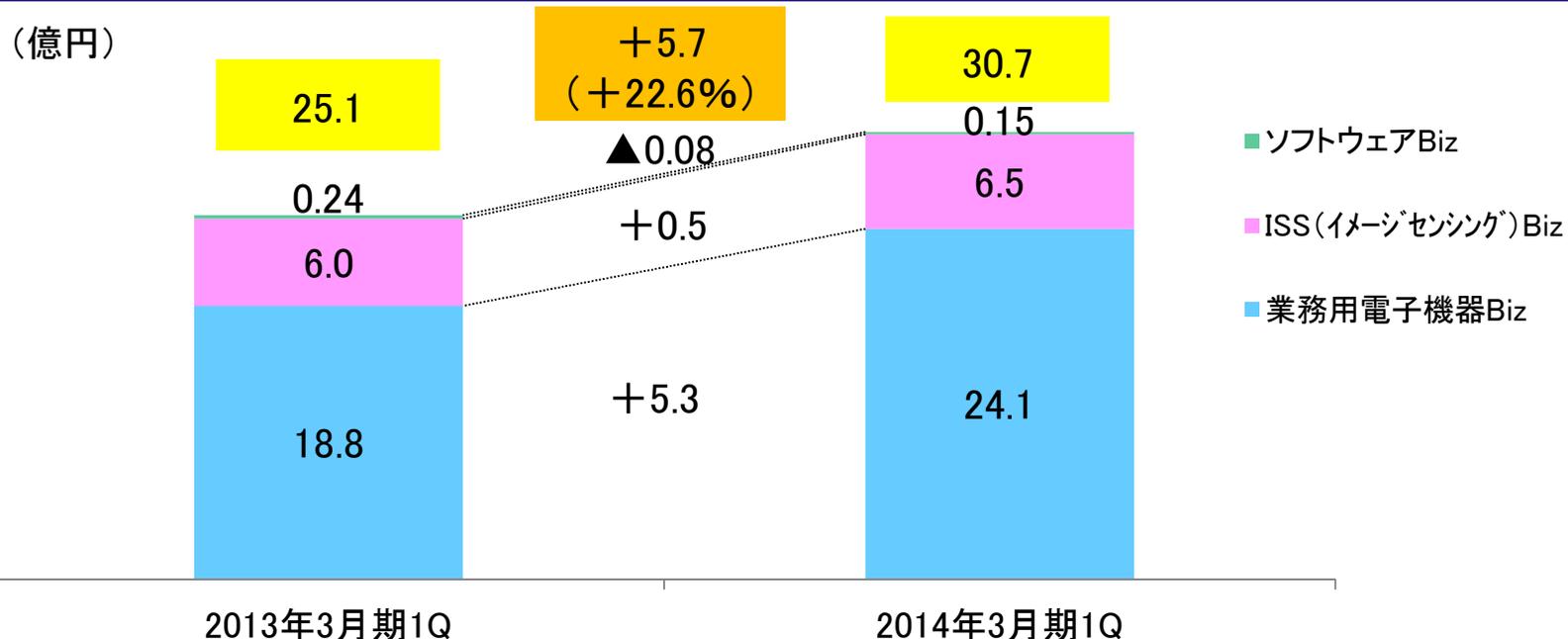
2,112

2,027

- ソニー半導体: 海外スマートフォン向けにイメージセンサーの販売が伸長
デジタルスチルカメラ向け及び国内スマートフォン向けは市場環境の悪化等により売上減
- その他: スマートフォン向けタッチパネル、車載向け等の液晶パネルの販売が好調
- EMS: 中国自社工場(液晶モジュール基板実装)は堅調も、ファブレス事業はデジタルスチルカメラ市場停滞の影響により低調
- 相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、セグメント利益は前年同期比微減

※今期より、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管。また、前期まで、配賦不能費用として全社費用に含めていた報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を今期より各セグメントへ配賦。この変更を遡及して前期実績にも反映

2014年3月期 第1四半期 電子機器事業



セグメント利益(百万円)

▲223

▲164

➤ 業務用電子機器ビジネス

景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資に改善が見られ、一般企業向け、医療向けの売上が伸長したほか、前年度において延伸されていた官公庁向けの案件を獲得

➤ イメージセンシングビジネス

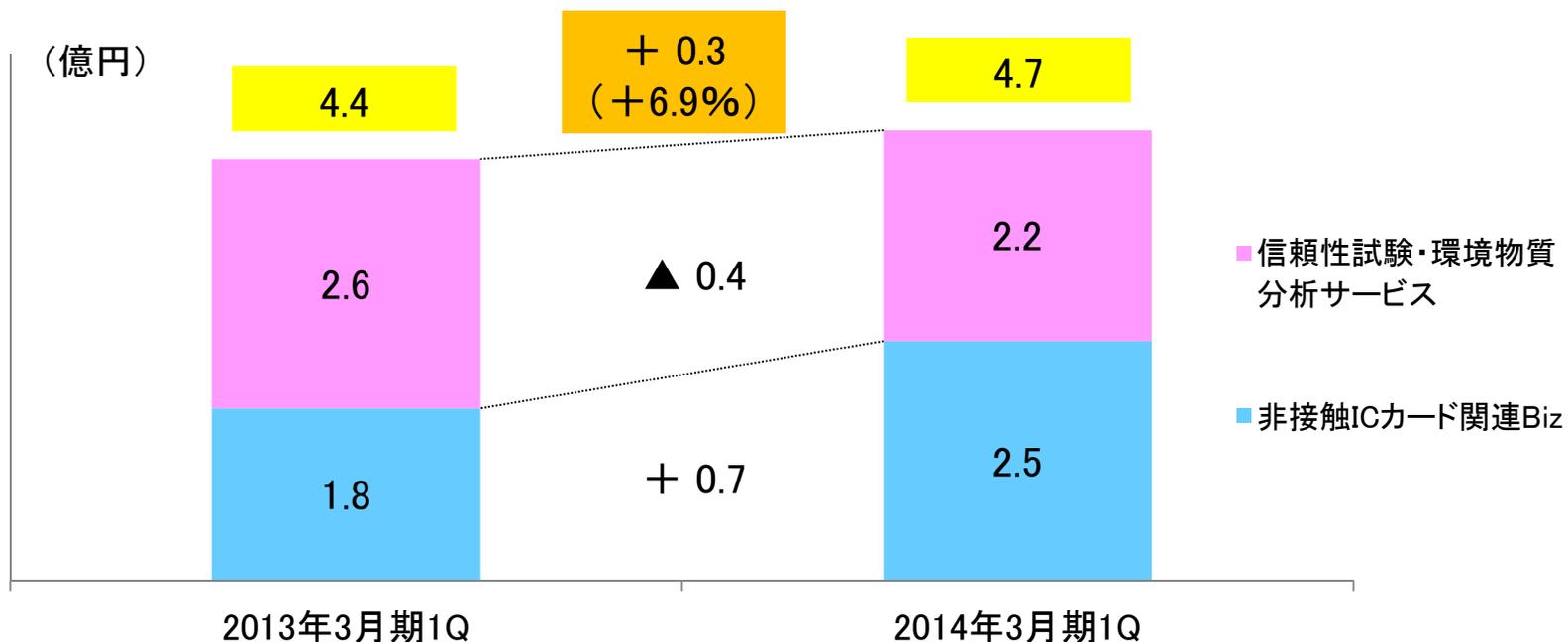
半導体製造装置メーカーの大型投資案件を受注したこと等により前年同期比で売上増

➤ 増収効果により、セグメント損失は改善

※当事業は、顧客の投資予算執行との関連が強いため、売上・利益が2Q、4Qに偏る傾向がある



2014年3月期 第1四半期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

57

25

- 非接触ICカード関連ビジネス
デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスの活性化に伴って、前年同期比で売上伸長
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
試験数の減少に伴い売上減
- 高利益率の信頼性試験・環境物質分析サービスの売上減少により、セグメント利益は前年同期比で減少



2014年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)

(単位:百万円)		13/3月末	13/6月末
現預金		12,601	15,797
売上債権		65,119	65,720
棚卸資産		24,091	25,030
その他		6,536	4,550
流動資産計		108,349	111,098
固定資産計		5,874	5,981
総資産		114,223	117,079

仕入債務		35,371	41,534
短期借入金※		25,232	22,564
その他		4,410	3,418
流動負債計		65,014	67,517
長期借入金		2,610	1,896
その他		1,196	1,152
固定負債計		3,806	3,049
純資産		45,402	46,512

自己資本比率	39.4%	39.5%
---------------	--------------	--------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+2,855	・現預金 +3,195百万円
負債	+1,745	・仕入債務 +6,162百万円 ・短期借入金※ ▲2,668百万円 ・未払法人税 ▲1,633百万円
純資産	+1,110	・四半期純利益 1,254百万円 ・為替換算調整勘定 +529百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲627百万円 ・少数株主持分の変動額 ▲45百万円
自己資本比率	+0.1%	利益剰余金の増加等により39.4%から39.5%へと微増



2014年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想



2014年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想

(単位:百万円)	2013年3月期 2Q累計(実績)①		2014年3月期 2Q累計(予想) 2013/5/10公表②		2014年3月期 2Q累計(修正予想) 2013/8/9公表③		前年同期比 ③/①	予想比 ③/②	14年3月期 (通期予想) 2013/5/10公表(据置)	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減率	増減率	金額	構成
売上高	144,772	100.0%	142,000	100.0%	160,000	100.0%	+10.5%	+12.7%	290,000	100.0%
売上総利益	9,672	6.7%	8,800	6.2%	9,400	5.9%	▲2.8%	+6.8%	18,200	6.3%
SGA	5,301	3.7%	5,400	3.8%	5,500	3.4%	+3.8%	+1.9%	10,800	3.7%
営業利益	4,371	3.0%	3,400	2.4%	3,900	2.4%	▲10.8%	+14.7%	7,400	2.6%
経常利益	3,769	2.6%	3,200	2.3%	3,900	2.4%	+3.5%	+21.9%	7,000	2.4%
四半期純利益	1,978	1.4%	2,100	1.5%	2,600	1.6%	+31.4%	+23.8%	4,500	1.6%
EPS(円)	125.99		133.76		165.62				286.65	

- 第1四半期の連結業績は当初の予想を上回る進捗率で堅調に推移
- 第2四半期も、スマートフォン向けを中心に部品事業やEMS事業において海外での増収が見込めるため、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を上方修正
第2四半期の為替レート前提: 1USドル95円を見込む
- 通期の連結業績予想については、下期の顧客の需要動向等、不確定な要素が多いことから、前回公表の予想値を据え置く。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

